



# T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



## W E E K L Y R E P O R T

生きること活かすこと

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2013年10月21日発行 第372号

2013-2014年度 No. 12



### 本日のプログラム

平成25年10月21日

『クラブ協議会』

### クラブからのお知らせ [10月7日例会]

#### ● 平松会長挨拶

先週木曜日に催された金沢北ロータリー・クラブの40周年記念式典と懇親会に出席して参りました。記念で作成された、黒く染め上げられ、赤を配したネクタイを頂戴しました。中央に紫色のバラが刺繍されています。

金沢北ロータリー・クラブは当クラブの浅田さんがチャーターメンバーだったクラブですから、浅田さんの40周年ということでもあります。式典前夜に金沢市内の蜷屋という料亭で、浅田さんを祝福しました。浅田さんは40年皆出席ですから、40年前にボトル詰めされた赤ワインを有志でお贈りしました。

#### ● 渡辺幹事報告

- 9月30日の3クラブ合同例会には、多くのご出席を頂きありがとうございました。無事に終えることができましたのも、会員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

- 山の手東グループの11クラブ合同例会が来る11月19日(火)、12時半～14時半の予定でウェスティンホテル東京にて開催されます。  
卓話講師には、民間から初めて防衛大臣に起用されました森本敏様がお越しになります。ご出席をお願い申し上げます。

- 10月の例会スケジュールですが、来週14日は体育の日で休会となります。その翌週、21日はクラブ協議会です。

- 舟木ガバナー公式訪問の際、復興支援の募金箱を預かりました。しばらく受付に設置致しますので、ご協力をお願い致します。

#### ● 三田親睦活動委員長より

- 10月2日～4日にかけて金沢に行って参りました。天候にも恵まれ、会員10名と山口富久さんが参加されました。金沢では浅田さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

### 10月お誕生月の会員



末松亜斗夢さん  
門田真乍子さん  
松木隆央さん  
三田大介さん  
平松和也さん  
中島信二さん(例会は欠席)





2013年9月9日

## 『会員卓話』

### 『私の履歴書』～人生70才からが面白い！

門田真乍子 会員

日本人の平均寿命88歳として 今78才。あと1年1ヶ月で80才になります。人生 富士山に例えると9合目。さあこれからどう生きようかしら。

#### 1合目・2合目

戦争 終戦 戦後、食糧難も加わって、第三者から見れば悲惨な生活だったようですが、思い出は楽しいことばかり。生来のプラス思考なのかも知れません。

#### 3合目・4合目

仕事 結婚 出産 育児、人生のすべてを人に尽くす日々。夫の仕事をサポートして、仕事に全力投球。

#### 5合目・6合目・7合目

50才で色彩に出会い、会社を設立。アカデミーで人材の育成、1300人の卒業生を送り出し、日本色彩学会などの学会に所属して、24本の研究論文を書くなど、充実した仕事人生。この頃より海外旅行に出掛け、夫と共に100カ国以上旅した。

#### 8合目

70才で社交ダンスに出会いました。

#### 9合目

今、9合目に立っています。人生の『華』でしょうか。ここまで登ると、人生の頂点が見えてきて、ルートも読めてきます。多少酸素が薄く息は上がっても、天気の良い日は眺めも最高です。人の優しさが心にしみるようになりました。



#### 人生70才からが面白い

- ・ 50才でのカラーとの出会いは読売新聞の記事
- ・ 70才でダンスに出会う  
ダンスの効用  
①自然に歩いてしまう、②姿勢が良くなる、③音楽とスポーツが同時に出来る、④スキンシップで、人間の優しさを感じる。
- ・ よく娘に言われます。ダンスって素晴らしい

### 『私の業界』

柏原玲子 会員

人材ビジネスを手掛けていて、もっとも悩むのはどのようにスタッフを教育するかということ。とくに、若い人の価値観、認識、思考回路は私達のような世代とは大きくかけ離れており、とまどうばかりです。

たとえば挨拶の仕方、上司との関係、連絡や報告、受け答えの仕方など、基本的なことのどれをとっても世代間で大きなギャップがあることに愕然とします。相手の顔を見て挨拶するのではなく、メールやLINEなどで挨拶すれば、顔を見て挨拶する必要はない。そんな考え方もあるようです。

一方で、私達の側として、従来のような教育方法でいいのかという反省もあります。たとえば、ハワイ沖での愛媛丸の事故、手術後のガーゼの取り忘れなどのケースがよく例に挙げられます。ひと

つのことに集中していたり、こんなことはあり得ないといった強い先入観に支配されていたりすると、実際には視野に入っていないながら見えていなかったりして大きな事故につながったりするのです。さらに親に叱られた経験がなく、なんでもかんでも細かいことにまで出てくる親。

こうしたさまざまなことを考慮して、新しい教育のあり方をどう樹立すべきか。毎日、懸命に模索しています。





## 2013-14年度 第4回理事会報告

### 【協議・審議事項】

- ①次々年度会長候補者(案)について
- ②次年度理事候補者(案)について

上記2議案につきましては、理事会承認を得ましたので、会員の皆様には「クラブ細則」に基づき、11月11日(月)に、次年度(2014-15年)理事候補者、会長候補者、幹事候補者、並びに次々年度会長候補者につきまして「公示」致します。

### 【報告事項】

- ①10周年実行委員会について

平松会長より、構成メンバーについての報告がありました。

実行副委員長に荻田会員と森会員に快諾を頂き、構成メンバーの皆様もほぼ確定を致しました。

開催日程並びに記念事業などに関しては、早い段階で実行委員会を開催し、理事会で協議していきたい旨の報告がありました。



## 2013年9月14-16日 RI第2750地区RYLAセミナー参加報告

武蔵野大学 吉条祥歩 様

今回、このセミナーでわたしは多くのことを学びました。普段、リーダーになることはそんなに多くなく、自分がリーダーシップをとらなくても周りがかしてくるだろうといった感じで過ごしてきました。しかし、このセミナーに参加して、リーダーシップの本来の意味を知ることができました。

一番印象に残っている研修は、2日目、3日目のグループディスカッションです。普段、社会人の方などとディスカッションをする機会がなかったので、とても新鮮でした。また、様々な人の視点から物事を考えることができ、何度もグループの方々の意見に考えさせられました。さらに、自分の意見の主張の難



しさや全員一致の結論を出す難しさを感じました。最終日に行われたプレゼンテーションでは、日ごろあまり積極的に参加しないのですが、発表をさせていただき、達成感と自信を得ることができました。

この3日間の経験は非常に貴重で刺激的でした。明確な進路はまだ決まっておきませんが、確実に前へ踏み出す一歩となったと思います。セミナーで得た経験と自信を今後の活動に生かしていきたいです。

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムで、青少年にリーダーシップ、良き市民、人間としての成長を促すものです。当クラブは、RI第2750地区の本年度のセミナーに、石上会員の推薦による武蔵野大学の学生2名の研修を支援しました。





例会日》月曜日 12:30 - 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL : 03-4333-1234)

## ニニコBOX情報

宇佐見 千嘉さん

秋のおとずれを感じる頃となりました。食欲の秋、本日はおすしのお話、中澤圭二様、楽しみにうかがわせていただきます。

柏原 玲子さん

中澤様をお迎えしまして。本日の卓話を楽しみにしています。

渡辺 美智子さん

初秋の金沢を満喫して参りました。浅田さん大変お世話になりました。また改めまして40年に渡るロータリー・クラブへの功績をお祝い申し上げます。

門田 真子さん

10月30日誕生日を迎えます。昔は、教育勅語の発行した日で、祝日に自分の誕生日の日にちを皆で合唱したのを覚えております。

浅田 豊久さん

先週開催された「金沢北RC40周年」行事、ご参加の皆様にはたいへんお世話になりました。感謝感謝。

末松 亜斗夢さん

中澤様、本日の卓話で大変楽しみにしております。

高柳 公康さん

昨日ミニサッカーをして、足をくじいてしまいました。皆様お体には気をつけて下さい。

中川 勉さん

おすしのお話、楽しみです。

平松 和也さん

中澤様、本日の卓話を楽しみにしています。

松島 正之さん

中澤さま、本日のお話しを楽しみにしています。馬肥ゆる秋、是非お店にもお邪魔したいと思っています。

森 佳子さん

中澤圭二様、本日の卓話楽しみにしております。

山本 良樹さん

森美術館10周年おめでとうございます。

10月7日	合計	39,000円
	累計	652,000円

## 次回のプログラム

平成25年10月28日

## 卓話『教育再生実行会議について』

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)創業者・最高顧問  
RI第2580地区 東京西北ロータリー・クラブ会長

大竹 美喜 様

## プロフィール

## 【略歴】

1939年5月 広島県生まれ  
1960年3月 広島農業短期大学(現 県立広島大学)卒業  
2008年9月 韓国 大邱韓医科大学名誉保健学博士

## 【アフラックにおける職歴】

1974年11月 アフラック日本社創業 副社長  
1986年1月 アフラック日本における代表者・社長  
Aflac Incorporated(Aflac持ち株会社)取締役  
1995年1月 アフラック日本における代表者・会長  
2003年1月 アフラック創業者・最高顧問

## 【職歴】

(公財)さわやか福祉財団理事、(公財)国連大学協力会評議員 他多数

## 【表彰・褒章歴】

1992年 米国連邦議会にて日米の経済交流促進に重要な役割を果たした功績により賛辞を受け、公式記録に掲載される  
1994年 米国ジョージア州名誉州民、ジョージア州コロンバス市名誉市民に選ばれる

2001年 藍綬褒章受章

## 【著書】

『これでいいのかニッポン』NHK出版(1994年)  
『ポケットの中の人間学』NHK出版(1997年) 他多数



## 10月7日の例会出席率(暫定)

・会員の例会出席数(出席率) 29名(60%)  
・ゲスト・ビジターの参加者数 2名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会  
問伐に寄与する紙  
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用  
に役立ちます

## 東京六本木ロータリー・クラブ

会長 平松 和也 幹事 渡辺 美智子 広報・委員長 安井 悦子 広報・週報委員 片岡 雅敦 広報・週報副委員長 小篠 ゆま

事務局》〒106-0031東京都港区西麻布3-2-13 コートアネックス六本木503号室 TEL:03-6721-1555 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/